

う えだ UEDA

市議会だより

No.46 平成26年8月1日号



銀鱗舞う季節
(提供:上小漁業協同組合)

9月定例会は
9月1日(月)
開会です。

本会議の概要	2
委員会審査の概要	4
25人の議員が市政を問う	6
請願・陳情の審査結果	17
会派の紹介	18
議会報告会のお知らせ・編集後記	20

未来の宝 紹介



常田保育園

「思い切りどろ遊び、気持ちいいよ!」

夢中で泥だんごを作ったり、泥あそび用の服に着替えて、全身で泥の感触を味わったりしています。お昼になっても、なかなかやめられないほどです。五感を鍛えてたくましい子どもになってほしいと願っています。



あゆみ保育園

「自然の中で楽しいキャンプ」

年長クラスで、一泊のキャンプに行ってきました。
川遊びでたっぷり遊んで、その後、キャンプ場で洗濯をしているところです。
夕ごはんを作ったり、一緒に寝たりの体験で、ひとまわり大きくなった子どもたちです。

6月定例会

3期目を担う市長の 政治姿勢をたずね

～市長施政方針演説に対して～

6月定例会は、6月2日から6月23日までの22日間の会期で開かれました。

市長提出議案は平成26年度一般会計補正予算や条例の一部改正、報告など46件で、採決の結果、すべて可決（または承認、適任）とされました。

上田市議会3期目がスタートして初めての一般質問には、各会派から代表質問5人と新人議員を含む20人の議員が登壇し、引き続き3期目の市政を担う市長の施政方針や市政の課題について活発な議論が交わされました。



予算

**一般会計補正予算は約14億円余の増額
骨格予算だった当初予算に新規事業などを肉付け**

一般会計予算は14億6

840万円余を増額補正

し、総額69億7452万

円余となりました。これ

は、昨年度同期に比べて

4.9%の減額となってい

ます。そのほか2つの特

別会計と4つの企業会計

の補正予算が提案され、

全て可決されました。

主な補正内容としては、

市民一人一人が幸福を実

感し活き活きと健康に暮

らせる健康都市の実現に

向け、より多くの市民が

実践・継続できる事業構

築のための「健康都市う

えだ」健康づくり事業（16

万円）。

失業者の就職促進、人

材育成支援のため、集合

訓練や職業体験研修を実

践し正規雇用化する等、

地域の雇用拡大につなが

る事業を企業に委託する

雇用対策職業訓練事業
（5000万円）。

三才山・新和田トンネ

ルの通行料金について、

県の時間帯割引回数券の

導入に伴い、市も協調し

て利用者の負担軽減を図

る有料道路通行料金負担

軽減事業（5729万円）。

城下町としての趣きを

醸し出すため、天神一丁

目地区の道路沿いに市民

との協働により「道しる

べの丘」（ミニパーク）を

整備する「上田城跡への

誘い」道しるべの丘（ミ

ニパーク）街路整備事業

（532万円）、小・中学校建

設事業（1億944万円）、塩

田中央保育園増築事業

（5840万円）、丸子文

化会館施設整備事業（6

617万円）、交流文化

芸術センター「サントミ

ューゼ」の開館記念事業

等の経費（4083万円）、



開館が待たれる「セントミューゼ」

歩道の除雪作業の迅速化と負担軽減を図るための小型除雪機購入費補助事業（3390万円）などです。

特別会計では、国民健康保険事業会計において、制度改正に伴うシステム改修費を増額したほか、産婦人科病院事業会計では、訴訟案件の和解に当たり解決金と弁護士報酬、婦人科良性疾患手術に対応するための医療機器整備等の予算が計上されました。

条例

市税条例中一部改正案など全8件を可決

今定例会では、既存条例を一部改正する条例8件が提案され、全て可決されました。

「市税条例中一部改正」は地方税法の一部改正に伴い、法人市民税及び軽自動車税の税率改定等の所要の改正を行うものです。

「市助産師確保修学資金等貸与条例中一部改正」は、市立産婦人科病院において、条例制定後も助産師が不足している状態が続いていることから、平成26年6月30日までとなっている支援制度を継続するために所要の改正を行うものです。

「市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中一部改正」は、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部改正

に伴い、消防団員の処遇改善を図るために、所要の改正を行うものです。

「市特別用途地区内における建築物の制限等に関する条例中一部改正」は、上田市計画区域と丸子都市計画区域の統合に伴い、所要の改正を行うものです。

また、定例会最終日には、教育長の給料月額額の10分の10に相当する額を3カ月間減額する「特別職の職員等の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部改正」が提案され、可決されました。

【その他可決した条例】

- ・職員給与に関する条例中一部改正
- ・道路の構造の技術的基準等を定める条例中一部改正
- ・企業職員の給与の種類及び基準に関する条例中一部改正



上田市消防団の訓練

報告

専決処分した条例及び補正予算を承認 条例3件、補正予算8件、事件決議13件

事件決議では、定例会初日において神科第一保育園改築事業建築主体工事請負契約の締結に関する議案が委員会で審査され、本会議において可決されました。このほか、東塩田小学校屋内運動場改築事業建築主体工事請負契約の締結についての議案が可決されました。

また、市立産婦人科病

地方税法の一部改正に伴う所要の改正について、

平成26年4月1日から施行するために3月31日付で専決処分を行った市税条例一部改正のほか、都市計画税条例及び国民健康保険税条例の一部改正

に係る専決処分の報告。

また平成25年度一般会計補正予算のほか国民健康保険、後期高齢者医療など7件の特別会計、平成26年度一般会計補正予算等の専決処分の報告、事件決議として、交流・

事件決議

東塩田小学校屋内運動場改築工事の請負契約締結など6件を可決

院（旧産院）で出産後の児に後遺障害が残った事故に関して、裁判所の和解勧告を受け入れることとしたことから関連議案が提案され、全会一致で可決されました。

【その他可決した事件決議】

- ・市道路線の認定について
- ・市道路線の廃止について
- ・道整備交付金 丸子小牧線トンネル工事請負変更契約の締結について



神科第一保育園建設予定地

◆人事案件

人権擁護委員の推薦

宮下佐都子さん

（新屋）

池田 文一さん

（坂井）

文化施設建設建築主体工事など請負変更契約の締結の承認が12件のほか、上田市交流文化芸術センターに設置するコンサートグランドピアノ2台の購入の報告があり、いずれも承認されました。

一般会計補正予算

問 第三中学校耐震化事業の工期について、どのように考えているのか。

答 平成27年度中には、南校舎の大規模改造と耐震補強を終えたいと考えており、今後基本設計、実施設計等に入っていく。また、改築する北校舎及び屋内運動場等についても、最大限の努力を払って進めていきたい。

専決処分した一般会計補正予算第8号の承認

問 公共施設整備基金の用途は、耐震化だけでなく、長寿命化対策なども考えているのか。

答 主には小中学校、市役所本庁舎、災害時の避難所などの

耐震化を見据えたものであるが、今後は、将来的に市の施設全般の配置をどうしていくのかを検討していく必要があると考えており、将来の長寿命化、建て替え等の財政需要にも対応できるようにしていきたい。

専決処分したピアノの購入の承認

問 交流文化芸術センターのピアノについて、例えば小ホールでのピアノ発表会など、子どもたちがこの最上級のピアノに触れられる機会をつくっていくべきと考えるが、どうか。

答 試し弾きをし、購入するピアノを選定する作業をピアノニストの方に行っていた中で、1台は大ホールに向くようにもう1台は、子どもた

ちが使うことも想定したものを選んでいた。ピアノは他社のものも1台用意する計画であり、子どもだけでなく市民の皆さんもご利用いただけるようにしていきたいと考えている。

総務文教委員会

- 6月13日に開催し、条例案2件、予算案1件、事件決議案1件、報告15件、請願3件、陳情3件の審査を行いました。

産業水道委員会

- 6月13日に開催し、条例案1件、予算案4件、報告2件の審査を行いました。

一般会計補正予算

問 地域人づくり事業とはどのようなものか。

答 緊急雇用対策事業として、求人企業と求職者のミスマッチを解消し、求職者の人材育成と就職促進を図るものである。2

力年において50人程度の雇用創出を目標に、求職者が希望する会社

等にて、一定期間の研究を行うことで、正規雇用に着実に結びつけられる体制にしていきたいと考えている。

問 今年度上田市で開催される日本そばサミットに対する、市のかかわりは。

答 開催に係る経費に対して補助金を交付し、また、実行委員会の事務局として、会議の開催、会計事務、開催場所の整備や当日の駐車場整理などにかかわることになる。

専決処分した平成26年度一般会計補正予算第1号の承認

問 この補正予算により、大雪災害で被災された農家の皆さんが農作意欲を損なわないような対応ができたのか。

答 国、県、市が一体となって支援

する被災農業者向け経営体育成支援事業により、施設の復旧費に対する全体の補助率が90%という極めて高い補助率となっている。それに加えて、営農を継続していただくために、さらなる負担軽減策として、市独自に5%以上乗せし、合計95%の補助率とした。これにより、農業用ハウスの復旧や農業の再生産に意欲を持っていたいた



大雪被害を受けたハウス

の審査概要

神科第一保育園改築事業建築主体工事請負契約の締結

問

今回の工事では、県からの補助金を財源に充当して工事を行うとのことだが、交付の条件はどのようなものか。

答

上田市産の木材をはじめ長野県産の木材で建設することにより、財源の一部に林業振興のための補助金である県の木造公共施設整備補助金を充当することとしており、その条件としては、構造主体のほとんどに県産の木材を材料に用いて建設することとしている。

市助産師確保修学資金等貸与条例中一部改正

問

現在の制度利用の状況はどうか。

答

現在までに、修学資金を1人、就業資金を1人、研究資金を7人に貸与している。また、利用者からは、非常に助かるという声を聞いており、市としても、この制度については一定の効果があると感じている。

一般会計補正予算

問

健康づくり事業費の委託料において、これまでの未受診者に対して無料クーポン券を送付することだが、女性対象のがん検診の受診率はどうか。

答

25年度の受診率は、子宮がん検診が18.8%、乳房マンモグラフィ検診が18.9%となっている。そのため未受診者に対して個別通知に加えて、広報や有線放送、インターネ



がん検診の無料クーポン券

ット、各種団体や企業等を通じてさらに受診勧奨を行っていきたいと考えている。

厚生委員会

●6月2日、16日に開催し、条例案1件、予算案4件、事件決議案2件、報告7件の審査を行いました。

常任委員会

環境建設委員会

●6月16日に開催し、条例案3件、予算案1件、事件決議案3件、報告5件の審査を行いました。

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例中一部改正

問

団員の確保が上田市消防団の大きな課題となっている中、魅力ある団活動とするための工夫、取り組みは行われているのか。

答

消防団の装備や活動費の充実を図っており、今回の退

職報償金の改正もその一つである。
また、最近、各地で消防団員が商店街で買物をするなど割引となるなどの「サポート事業」が行われていることから、上田市としても事業実施について今後検討していく。

一般会計補正予算

問

今回策定する市民協働指針では、何をどのように具現化するのか。

答

既にさまざまな取り組みが行われているが、市民による検討委員会の御意見なども伺いながら、改めて指針として上田市の具体的な取り組み方針、方向性をまとめていきたい。

問

三才山・新和田トンネルで実施される通行料金の軽減

事業は、どのようなものか。

答

通勤・通学時間帯（午前6時から9時まで、午後5時から8時まで）の通行料金を軽減することで生活の安定を図ることを目的に、県が時間帯割引回数券を導入したことに伴い、市も協調して8月から通行料金の軽減を実施するものである。今回の県と市の負担による割引の回数券は、本庁の市民課、各地域自治センター、情報ライブラリーの8カ所で、市民の皆さんを対象に販売する。

25人の議員が市政を問う

6月定例会一般質問要旨

6月定例会では一般質問を6月9日、10日、11日の日程で行いました。25人の議員が質問を行い、市政について議論を交わしました。

今回は、市長当選後、最初の一般質問となるため、各会派の代表者が代表質問を行いました。

掲載内容は、質問全体のうちの一部を要約したものであり、質問議員本人が作成しています。

質問全体の内容は、会議録によりご覧いただくことができます。会議録は議会事務局、市内図書館及び公民館等で閲覧することができます。また、ホームページでもご覧いただけます。

なお、一般質問の様子は上田ケーブルビジョン及び丸子テレビ放送のご協力により生放送及び録画放送を行っていただいています。

代表質問

土屋 陽一

議員
(新生会)



市長選挙の総括

問 前回より約一万票減。票の重さをどう感じるか。

答 (母袋市長) 6割を超える票は8年間の信任。持続発展で風格、魅力に輝く都市を実現したい。

マラエスト2014

問 市民への浸透度は。

答 (母袋市長) 高くはない。各種の会で説明する。

問 「健(康)幸(福)都市」は理解ににくい。スマートウェルネシティの都市との連携か。

答 (母袋市長) 健康づくりの視点で、物まわし、人づくりに取り組む。都市像は「健康都市」。

全国の都市とも連携する。

問 教育委員会事務局を見直し、総合教育会議設置の際に、文化スポーツ部門を市長部局に一元化してはどうか。

答 (母袋市長) サントミューゼの交流文化芸術センターは市長部局。美術館は教育委員会に位置付けた。今後、場所が離れている文化振興課は、検討する。

資源循環型施設

問 資源循環型施設建設連絡会での状況はどうか。

答 (峰村生活環境部長) 市長訪問は重く受け止める。清浄園用地への説明不足。地域を巻き込んだ議論が必要。ごみ問題は全市民の問題として捉えてほしい等の意見がある。

地域医療再生

問 現状はどうか。

答 (小林健康福祉部長) 信州上田医療センターは、がん診療の充実や救急部創設に向け医師確保を継続。常勤医師70人台を目指す。

大河ドラマ「真田丸」

問 受け入れの専門部署は。

答 (母袋市長) シティ・プロモーション推進室を設置する。

問 大河ドラマ館設置は。

答 (井上副市長) 今後、検討する。

長野大学の公立大学法人化

問 どう進めるか。

答 (金子政策企画局長) 検討委員会を立ち上げる。平成28年4月開設の要望がある。

その他の質問項目

・財政健全化の取り組み推進

代表質問

小林 隆利 議員
(創始会)

市長マニフェスト

問 8年をどのように検証しているのか。

答 (母袋市長)合併を契機として新市における新たな行政経営の仕組みを目指してきた。

第二次上田市行財政改革大綱を策定しながら職員削減、行政評価制度を活用した事務事業の見直し、施設経営の見直し等特に行政評価の取り組みについては、上田市方式としての確立ができたとみている。また、行政委員会等の委員報酬を県内19市の中で最初に見直し、この4月1日から実施し

た。財政の構造改革については、財政健全化に向け将来負担の軽減のために、市債の発行或いは償還の両面から公債費そのものをコントロールしてきた。今後においても、市民協働と対をなす行財政改革の取り組みを推進していきたい。

問 上田市の定住化施策検討のためのプロジェクトチームを作るべきでは。

答 (金子政策企画局長) 今後人口維持に向けた都市間競争の激化が予想される。NHK大河ドラマ「真田丸」放映決定という絶好のチャンスを活かし、上田の魅力、暮らしやすい環境を積極的に発信していくとともに、移住、定住促進の取り組みについてもシティブロモーションの環境として捉え専門に推進する部署を設置したい。

議員からご提案いただいた若手職員を中心とするプロジェクトチームにつ

いても、推進室を中心とする全庁的な取り組みの中で検討していきたい。

問 新たな市町村連携時代を築いていきたいとしているが、特に松本地方との連携を積極的に進めるべきでは。

答 (母袋市長) 先般、松本市長を訪問した。連携の位置づけは塩尻・安曇野・大町方面も含めて、新幹線時代にどう対応していくのかという大きな課題である。また、信州松本空港の東信地域からの利用者が少ないといわれる中、距離感を縮めるための方策も考えていく必要があると思う。

問 選挙結果 新副市長に何を望むのか。

答 (母袋市長) 知識、経験とも非常に豊富で、人望も厚い誠実な人格者。市職員との意思疎通を図りまとめてほしい。

問 社会保障の充実策は。

答 (母袋市長) 国民健康保険に対する一般財源からの繰り出し、保育料の軽減、子どもの医療費の無料化、公立病院への一般財源からの繰

・上田市の財政
・資源循環型施設建設
・社会資本の長寿命化対策
・農林業活性化プラン

その他の質問項目

代表質問

渡辺 正博 議員
(日本共産党)

選挙結果

問 新副市長に何を望むのか。

答 (母袋市長) 知識、経験とも非常に豊富で、人望も厚い誠実な人格者。市職員との意思疎通を図りまとめてほしい。

問 社会保障の充実策は。

答 (母袋市長) 国民健康保険に対する一般財源からの繰り出し、保育料の軽減、子どもの医療費の無料化、公立病院への一般財源からの繰

・上田市の財政
・資源循環型施設建設
・社会資本の長寿命化対策
・農林業活性化プラン

市長マニフェスト

り出し等、充実を行ってきた。今後、国に地方の実態を伝え、社会保障の充実のみならず、健康増進によって人が健康で元気なまちとなり得るよう、地域医療のさらなる充実などに取り組む。

資源循環型社会の構築

問 ごみ焼却施設建設候補地の地元は、なぜ首を縦に振らないのか。問題点はどこにあるのか。行政には問題はないのか。

答 (母袋市長) 地元との膠着状態を何とか打開しなければいけない。これが最大の目的。現在、3R、資源化とか減量化について新たな試みをし、オール上小としてさまざまな取り組みを始めている。こういったものも訴える中で、やっぱりご理解をいただくとというのが常道だろうと思う。

問 3月議会において平成26年度当初予算の議決後13日で、事業計画変更した動機は何か。

答 (母袋市長) 3月議会で建築基準法違反が判明し大変重要な視点だと受けとめた。また、校舎の安全性に対するご意見ご要望を数多くいただいた。事業の適切な推進、とにかく前進しなければいけないし、国との約束期限もある中で一部改築も視野に入れて計画の再検討を決断した。

問 3月議会において平成26年度当初予算の議決後13日で、事業計画変更した動機は何か。

答 (母袋市長) 3月議会で建築基準法違反が判明し大変重要な視点だと受けとめた。また、校舎の安全性に対するご意見ご要望を数多くいただいた。事業の適切な推進、とにかく前進しなければいけないし、国との約束期限もある中で一部改築も視野に入れて計画の再検討を決断した。

第三中学校の建設事業

問 3月議会において平成26年度当初予算の議決後13日で、事業計画変更した動機は何か。

答 (母袋市長) 3月議会で建築基準法違反が判明し大変重要な視点だと受けとめた。また、校舎の安全性に対するご意見ご要望を数多くいただいた。事業の適切な推進、とにかく前進しなければいけないし、国との約束期限もある中で一部改築も視野に入れて計画の再検討を決断した。

問 3月議会において平成26年度当初予算の議決後13日で、事業計画変更した動機は何か。

答 (母袋市長) 3月議会で建築基準法違反が判明し大変重要な視点だと受けとめた。また、校舎の安全性に対するご意見ご要望を数多くいただいた。事業の適切な推進、とにかく前進しなければいけないし、国との約束期限もある中で一部改築も視野に入れて計画の再検討を決断した。

その他の質問項目

・地域医療の再構築
・地域内分権

代表質問

半田 大介 議員
(公明党)

人口減少社会

問 人口減少を踏まえた青年政策(雇用・結婚、子育て)など、将来に向けた上田市の取り組みは。

答 (母袋市長) いままです市の取り組みが薄かった男女の出会いの場。結婚といった新たな視点、地域社会全体で若者・子育て世代を支える仕組みづくりに鋭意取り組む。

公共施設マネジメント

問 600近くある市の公共施設を将来建て替えた場合の更新費用の試算をどう捉え、人口減

少時代への公共施設投資を現状分析しているか、いち早く市民へ市の実態を示すべきではないか。

答 (武井総務部長) 今年度中の完成を目指し作成している公共施設白書では、公共施設の全体像を捉え現状と課題を分析し、施設の長寿命化・統合・配置等を検討するための基礎データ集となる。白書作成の過程で更新費用の試算を行う。

問 各部門の公共施設の情報一元化についてはどうか。

答 (鈴木財政部長) 国は複式簿記導入を含め地方公会計制度の具体的な指針を示し、公会計に必要な固定資産台帳整備と統一基準による財務書類作成を地方公共団体に要請する予定。固定資産台帳は、公共施設マネジメントにも活用できるのでICTを利用したシステム構築し、公有財産情報の一元的な管理を図りたい。

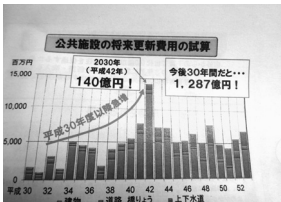
指定管理者制度

問 公募型指定管理者の課題と今年度予定している公募の考え方は。

答 (武井総務部長) 指定管理期間を原則3年から5年に延長した。本年度の募集は、公の施設指定管理者候補者選定委員会の意見を踏まえ、今後決定する。さまざまな団体が応募しやすい環境を整えていくことを検討する。

その他の質問項目

- ・多文化共生社会の推進
- ・長野大学の公立法人化
- ・企業誘致と産業振興
- ・地域包括ケアシステム
- ・成人用肺炎球菌ワクチン接種



新居浜市公共施設マネジメント
公共施設の将来更新費用

代表質問

深井 武文 議員
(上田新風会)

「健康都市」づくり

問 市長がマニフェストに掲げた「健康都市づくり」の目指す上田市の将来像はどのようなものか。

答 (母袋市長) 10年後の将来像としては、市民の参加と協働により、市民が主役で福祉、医療、子育てなど社会保障が充実し、住み慣れた地域で安心して暮らせ、幸せが実感できるまちづくりであり、そのための市政経営を目指すということです。

問 市長がめざす健康都市づくりには、先行き不透明な厳しい財

政環境の中で財源の裏づけが求められるが取組はどうか。

答 (母袋市長) 常に将来を見通しながら戦略的、計画的な財政運営を図り合併特例債の活用、基金造成、繰上げ償還など将来負担に斟酌し、補助制度や有利な起債などの有効活用にも配慮した財政運営を図っていく。

問 活力向上に向け人口減少、少子化、雇用不安、産業の振興策の方針は。

答 (金子政策企画局長) 製造業を含め、観光、農業など幅広い分野に目を向け雇用拡大を図りながら若者の定住、移住に向け子育て環境の整備、起業、創業支援など行っていく。

教育改革

問 国の教育改革法案が成立する見通しであり、教育の中立性などの懸念があるが受け止め方は。

答 (小山教育長) 上田市はこれまでも教育支援プラン策定に当たっても市長部局と意思疎通を図り進めてきており懸念材料はない、制度改革に適切に対応していく。

問 市長はこの改革に当たりどの様な考えか。

答 (母袋市長) 一体となつて教育に当たつていくことが重要と考える。

豪雪対策

問 今後の対策方針は。

答 (武井総務部長) 大きな教訓として全庁をあげて検証し、対応方針を決める。



本年2月の大雪

一般質問

宮下 省二議員（創始会）

園児・児童・生徒の
安全対策

問 保育園、小・中学校の耐震化工事を進めているが、体育館のつり天井の落下防止策の状況及び今後の取り組みはどうか。

答 （西入教育次長）体育館等のつり天井は、24年からの3カ年で耐震化工事完了を予定していたが、昨年、建築基準法施行令の一部改正により、改善が必要なのは8校となっている。今後、新しい技術指針に沿った詳細の工法等により対応する。

問 本年5月の海難事故を受けて、痛ましい事故を2度と起こさないため、教育委員会として今後の対応はどうか。

答 （西入教育次長）着衣水泳など、体験的に学ばせている学校もある。今後、様々な事故を想定した安全教育を行っていき

問 大雨洪水注意報が出

されている状況での帰宅はどう対応するのか。

答 （西入教育次長）小・中学校では学校長が判断して行う。

答 （田口こども未来部長）保育課と園長が相談して判断を行う。

問 不審者対応マニュアルに沿った訓練は行っているのか。

答 （西入教育次長）毎年マニュアルに基づいて、警察の協力もいただき、実施している。

問 県では、子ども支援条例の制定を目指すとのことだが、上田市はどうか。

答 （母袋市長）条例が制定された場合、市としてどのような協力体制が可能なかの研究していきたい。

一般質問

成瀬 拓議員（日本共産党）

景気・経済・雇用
対策

問 安倍政権の経済政策をどう捉え、市内経済への影響をどう評価しているか。

答 （井上副市長）年末年始の経営実態調査でも、売り上げや受注が増加したとする事業所は全体の46%と増加傾向にはあったが、一部の業種に限定されていたため、効果は徐々に始めているが、一部の事業所にとどまっていると考えている。

問 有効求人倍率1.0倍を目指し、どのような就労支援の取り組みを行っているか。

答 （井上副市長）有効求人倍率の改善に向け、ハローワークやパーソナルサポートセンター等関係機関と連携し、就職支援を行っている。地域人づくり事業も活用し、雇用創出を目標に、就職促進を図っていく。

消防団

問 現在の団員数、活動できない団員の現状をどう考えているか。

答 （中島消防部長）本年4月4日現在、条例定数2270人に対し、実員数が2211人で充足率は約98%。仕事との兼ね合いで活動参加が難しい場合もあることは十分認識している。事業主への協力依頼等を継続的にを行い、参加しやすい環境づくりに取り組んでいく。

問 消防団支援制度について効果等の調査状況はどうか。

答 （中島消防部長）利用状況、効果は検証中でデータはないが、団員からは好評とのこと。上田市としても検討を進め、必要に応じ消防団や関係団体と調整や協議を行っていききたい。

一般質問

松山賢太郎議員（新生会）

ブラジル・パラナ州
との経済交流

問 3度の上田市への正式訪問や経済連携要請を受け、今後どのように対応するのか。

答 （井上副市長）パラナ日伯商工会議所日本支所が市内にあることは、新たな取引を海外へ求める市内企業にとって、パラナ州は他国に比べ非常に海外展開を進めやすい地域であると思われる。上田市としてパラナ州への進出の優位性や窓口などをお伝えすると共に、今後の事業展開には商工会議所や市内商工団体の協力・連携を図りながら企業の海外展開への支援をしていきたい。

問 市内の企業が中心になって8月にパラナ州へ経済使節団を派遣する計画がある。上田市として支援や協力をどう考えるのか。

答 （井上副市長）パラナ

日伯商工会議所の会頭から、さらなる経済交流を行いたいという提案があったと聞いている。市内企業を中心とした経済交流使節団の結成が決定した折には、どのような支援ができるのか協議し考え、具体的な要請があれば応じたい。

問 パラナ州知事が上田市を訪問される予定があるが、しっかりと体制で迎える準備はできるのか。

答 （井上副市長）びっくりするような話だが、市内企業にとっても、あるいは長野県、日本にとっても大変大きな話だと思われる。市内の経済団体、市民の皆さん全体で歓迎の意を込めてお迎えしなければいけないし、県、国とも当然連携をして受け入れの体制を準備したい。

一般質問

佐藤 論征議員（新生会）

ラグビーW杯キャンプ地
誘致の取り組み

問 市民の関心、盛り上がりを高める活動をどのように進めていくのか。

答 （高橋真田地域自治センター長）多くの市民の理解と協力が不可欠であり、チラシ等による周知活動や各種イベントで市民の意識高揚を図っていく。「上田市にラグビーワールドカップキャンプ地を誘致する会」への活動費補助支援・連携強化を推進し官民一体で活動につなげていきたい。また、タッチラグビー等を推奨し、ルールの普及にも積極的に取り組んでいく。

問 施設建設についてはどうか。

答 （高橋真田地域自治センター長）現在有利な起債が見当たらない中、地元の意向を踏まえ、国・県・民間の協力を得て具体的な検討を進めていく。

NHK大河ドラマ
放映決定に伴う
観光客受け入れ

問 放映決定後急増する真田地域の観光客に対応する駐車場、トイレ、アクセス道路の整備はどうしていくのか。

答 （高橋真田地域自治センター長）駐車場、トイレの整備等、早急に検討する。道路については、待避所、部分的改良計画を策定し、検討を進めていく。

中学校の
朝部活動禁止

問 部活動に熱心に取り組む生徒のため、市の方針を改める考えはあるか。

答 （小山教育長）あくまで学校ごとに、県の指針を基準に生徒の健康、生活リズムに配慮し、学校長の判断で部活動は決定してほしいとの依頼であり、今後改めて検討していく。

一般質問

金沢 広美議員（公明党）

ラグビーワールドカップ
キャンプ地決定
に向け

問 ラグビーの関心を高めるための取り組みは。

答 （西入教育次長）誘致が決まった段階で学校や市民の皆さんにその国の言葉や文化・歴史を学ぶ機会や歴史を伝えるために研修会等の開催を呼びかける。トップアスリートが上田市を訪れた際は、広く情報を発信していく。誘致する会や上田市体育協会など関係する団体と連携し、子どもから大人まで関心が高まるよう取り組む。

「真田丸」放映に
伴う整備

問 上田駅前への「真田丸」ミニチュア設置などの整備と観光客の安全・安心の取り組みは。

答 （井上副市長）ドラマ放映に当たり上田市の玄

関口にふさわしい情報発信方法、アピールの方策を具体的に検討する。提案として受け止める。

答 （高橋真田地域自治センター長）国道144号の湯の平橋は幅が狭い上、急カーブで大型観光バス同士のすれ違いができないなど、大変危険な箇所となっている。「真田丸」が放送決定により真田地域へ訪れる観光客はもとより、真田街道の上州・長野方面などを往来する交通量が大幅に増加することから、橋と急カーブを改良する事業の実施を、以前から道路管理者である長野県に対し要望をしているが、これを契機に強く要望していきたい。

その他の質問項目

・ピロリ菌検査除菌

一般質問

松井 幸夫議員（創始会）

市町村合併後
8年間の成果

問 合併後の旧3町村の地域自治センターの役割に当初と現在では変化はあったのか。

答 （滝沢市民参加協働部長）基本的な機能や役割は当初と変化はない。

問 旧3町村内の住民の皆様の声の集約や合併前に想定された課題は何か。また、現在残っている課題解決に向けての取り組みは。

答 （武井総務部長）住民の皆さんの声を反映した、新生上田市建設計画の中で、課題や目標の視点で幾つかにまとめ、課題解決に向けては、今後も地域や関係団体の実情を斟酌しながら協議を継続していきたい。

答 （片山丸子地域自治センター長）担当課の窓口や自治会長連絡会議や地域協議会においても地域課題や要望を伺ってお

り、地域が一体となって課題解決に取り組んでいる。

答 （高橋真田地域自治センター長）地域づくり委員会や自治会連絡会議等で意見をちよつだいし地域全体で取り組んでいる。

答 （沢沢武石地域自治センター長）自治会長会、地域協議会、各種団体の総会等で、住民の意見、要望を吸い上げ、地域の直面する課題解決に取り組んでいる。

地域内分権

問 地域経営会議の役割と設置単位は。地域協議会との関係は。

答 （滝沢市民参加協働部長）地域の課題解決や地域振興に向けた取り組みを検討する場と位置づけ、地域内分権や市民協働を前進させるため、地域の皆様と話し合いを重ねる中で検討していきたい。

一般質問

久保田 由夫議員（日本共産党）



第三中学校の耐震化事業

耐震化事業

問 第三中学校の耐震化事業では、計画が二転三転した。その原因は何か。最終的な責任は誰にあるのか。また、今後教育委員会が組織として同様なことを繰り返さないための方策はどうか。

答 （小山教育長）昨年9月に補正予算、2月には26年度当初予算の議決をいただきながら、再三にわたる計画変更があり、申し訳なく、おわびする。最終的な責任は、全て教育委員会事務局を束ねる教育長である私にある。

二回にわたって、総務文教委員会から付帯意見をいただいた。そのため、保護者、地域への説明会を実施し、出されたご要望を可能な限り検討した結果、事業費がかなり増大した。2月には、校舎の階段幅を拡幅し、建築基準法に適合する改造方

法を検討させたが、構造的に難しいということがわかり、対応策を検討する中で、北校舎については改築とし、かつて補修したことのある南校舎については耐震補強をし、外に階段室を設置する大規模改造を行うこととした。そして、説明会の中で強いご要望があった生徒全員が一度に入れる仮設校舎をつくるなど計画変更し、市長の了解を得たという経緯である。

今後は、教育委員会内で特殊建築物等定期点検をはじめ、さまざまな調査、点検の結果をデータベース化して情報を共有し、市長部局とも緊密に連携、連絡を取りながら仕事に取り組んでいく。

その他の質問項目

・地域経済の活性化

一般質問

三井 和哉議員（上田新風会）



お城口水車を電気モーターで回している現状

回している現状

問 水車は水で回るから水車だが、電気モーターで回しているのはなぜか。

答 （清水都市建設部長）平成15年に水車を設置した際には発電装置を備えて街灯をともしていた。設置5年後に用水の水量が少なくなり、水車が回らなくなった同時期に発電機が壊れたため、電気モーターを取り付けた。

問 発電機及び電気モーターの設置費用、モーターで回す期間はどのくらいか。

答 （清水都市建設部長）発電機は114万円だった。モーターは発電装置の撤去費を含めて57万円。水量が少ない非かんがい期の9月終りから5月末まで回している。

問 1年の3分の2を電気で回していることになり。上田駅に降り立った

観光客が水ではなく電気

で水車を回していると知ったら、環境に配慮しないまちとして悪いイメージを持たないか。導水路に水を集めるなど、水で回す方策を考えるべきと思うが、水利組合と話をしたことがあるか。また官民協働で自然エネルギーの普及・利活用を進めている団体も市内にあるので、相談したらどうか。

答 （清水都市建設部長）非かんがい期の取水量を増やす方策については土地改良区と検討を行ってきているが、国から許可を受けた水量が決まっており、使用量を増やすことは非常に困難。市内の団体からは既に幾つか提案をいただいている。実現性や費用対効果も含め、有効な方策について検討していきたい。

その他の質問項目

・高齢者虐待の防止

傍聴者の声

本会議を傍聴されたみなさんの声

～こんなご感想・ご意見をいただきました～

6月定例会において、本会議を傍聴された方は延べ88人でした。傍聴された皆さんには、ご感想やご意見をアンケート用紙に記入していただいています。お寄せいただいたご感想、ご意見の一部を紹介します。

○市民のために真剣に考えてくださるのがよくわかりました。答弁の折の原稿はもう少し滑らかに読んでいただきたく思います。（70代 女性）

○どなたが何について質問されるか会場に来てわかるので、何らかの形で事前に質問内容を一般市民に知らせる方法はとれないでしょうか。（70代 女性）

一般質問の内容について

議員からの一般質問の通告は、定例会2日目の午後3時で締め切られ、その後議会運営委員会で日程を確認してから公表されるため、時間の都合上、議会報等の紙面でお知らせすることは難しい状況ですが、上田市議会のホームページでは事前に確認することができます。

一般質問

土屋 勝浩議員（新生会）



豪雪災害への対策

問 豪雪時の情報収集・情報発信体制にはもっと工夫が必要だと考えるが、市としての見解はどうか。

答 （武井総務部長）今回の大雪災害では、的確なタイミングで正確に市民に発信出来る情報受発信体制の構築が必要であった。今後、上田市災害検証チームを設け、対応策の検討を行っていく。

問 豪雪の際に要援護者の安否確認はどの様に行われていたのか。

答 （小林健康福祉部長）日常的に民生委員の皆さんに安否確認をお願いしているほか、配食サービスで弁当を直接手渡しすることにより確認を行った。

問 各PTAで除雪機購入を検討する動きがあるが、何らかの補助制度を創設できないか。

答 （西入教育次長）自治

会対象の補助制度はあるため、今後更に調査研究

歴史教育・防災教育

し、早急に考えたい。

問 子どもたちが地域への愛着と誇りを持つためには、歴史及び偉人教育が大切。市ではどのように取り組んできたのか。

答 （小山教育長）独自の資料をもとに、郷土の歴史や先人達の業績、志を学ばせている。大河ドラマ決定は絶好の機会であるため、さらに理解を深める学習を進めていく。

問 上田市は防災意識の低さが課題。もっと危険予知や危険回避能力を高める教育はできないか。

答 （西入教育次長）発達段階に応じて様々な学習を積み重ね、子どもの適切な判断力を培うことは大変重要である。今後はより実践的な防災教育に取り組んでいく。

一般質問

林 和明議員（新生会）



上田市の子育て環境

問 公園遊具の点検頻度は。老朽化し撤去され、遊具が少なくなった公園があるが充実させていく予定はあるか。

答 （清水都市建設部長）公園遊具の点検については、地元自治会の皆さんの日常管理のほかに、市職員または専門業者による安全点検を年1回以上実施している。安全点検の結果、腐食、亀裂、摩耗などの異常箇所が発見された場合は、遊具の一時使用禁止や修繕を実施して、子どもたちが安全に利用できるように努めている。平成25年度では公園にブランコやスプリング遊具を7基設置した。遊具の安全点検により安心心の確保を図りながら、遊具の必要な公園については遊具を設置し、子どもが外で元氣よく遊べるよう公園整備を進め

ていきたい。

問 共働き世代の増加に伴う放課後児童クラブの施設の老朽化や運営に対する市の方針は。

答 （西入教育次長）共働き世帯の増加に伴う放課後の留守家庭児童対策のため、放課後児童クラブを全小学校区に整備していきたい。老朽化した施設もあることから、改築等の大規模な改修については実施計画に位置づけ、計画的に整備している。小規模な改修については、その都度指定管理者と相談をしながら整備を行ってきた。放課後児童クラブは、市が示した基準に基づいて指定管理者が運営をしている。

その他の質問項目

・上田城千本桜まつり

一般質問

池田 総一郎議員（創始会）



農業振興施策

問 7月から県に設置される「農地中間管理機構」と上田市はどのように連携していくのか。

答 （甲田農林部長）今後、市、農協、農業委員会等との役割分担を踏まえ、当該機構を最大限活用できる推進体制を構築していく。

問 中山間地等に存在する遊休荒廃農地の再生を促進するための施策は。

答 （甲田農林部長）国の交付金事業の活用や市の単独事業の中で、平成25年度は10万6730㎡の遊休荒廃農地を解消した。今後も中山間地等に存在する遊休荒廃農地の再生を図っていく。

問 上田市として集落営農や個人の大規模請負農業者の法人化を後押しして、若い人たちの雇用に結び付ける考えはないか。

答 （甲田農林部長）集落

営農の組織化あるいは法人化を進めることも重要だと認識しており、法人化の手続に関する相談業務などを行っている。今後もこれらの側面的支援に努めていく。

部活の朝練廃止

問 上田市の中学運動部活動の朝練廃止の決定に至る間に、主人公である生徒や保護者の考えや意見はどの程度反映されたのか。

答 （小山教育長）市内の中学校では、県から素案が出された段階から検討を始め、それぞれの部活動の実情を踏まえ、生徒や保護者にアンケートを行い、部活動ごとに生徒の意見を聞く機会を設けた。今後も、十分な説明をしていくよう学校に求めていく。

一般質問

松尾 卓議員（公明党）



松くい虫被害対策

問 被害の拡大を食い止めるための事業を効率的に行う予算計画や発注形態、工期についての考えはどうか。

答 （甲田農林部長）温暖化の影響もあり、松くい虫の羽化が近年は早まっている。年度当初は、引き続き早期発注に努め、時期を切らさない伐倒駆除ができるよう執行計画を確認し、県に対しても機会を捉えて早期発注ができる予算対応について要望していく。

有害鳥獣被害防止対策

問 集落捕獲隊活用に向けた市の取り組みと課題はどうか。

答 （甲田農林部長）結成には地域でリーダーとなり取組みを進める人材や、参加協力が不可欠な資格を持った狩猟者の確保が課題であり、捕獲隊の理

解を得るための情報提供や猟友会への参加・協力要請も積極的に行い、新たな集落捕獲隊の結成を引き続き進めていく。

問 捕獲鳥獣の活用（ジビエ）について、市の取り組みはどうか。

答 （甲田農林部長）地域資源の一つと捉え、有効活用して地域振興に繋げていく取り組みは、捕獲の推進や地域振興を図る上で大変有効と考えている。

問 鳥獣保護法改正に伴い、若者や新規従事者の確保のため、わな猟に限り猟期の捕獲に対し、報奨金を拡充する考えはどうか。

答 （甲田農林部長）実際に捕獲に係わる猟友会や県等、関係者と意見交換し、検討していく。

一般質問

金子 和夫議員（新生会）



国道152号渋滞問題

問 市道丸子小牧トンネルの工事にかかわる周辺道路の整備計画はどうか。

答 （清水都市建設部長）丸子側の県道上田塩川線との交差点は、市道から東郷橋方面が主交通となるよう、交差点改良を進め大屋駅周辺の交通渋滞の対策につなげたいと考えている。

問 通勤通学時運賃低減バス利用促進で渋滞解消につながらないか。

答 （清水都市建設部長）事業所や学校を通じて通勤通学時における積極的な公共交通の利用を呼びかけるなど継続した啓発に努める。

問 国道18号からのバイパス整備は。

答 （清水都市建設部長）通称丸子バイパスについては国、県に対して引き続き積極的な働きかけをしていきたい。

信州ワインバレー構想への取り組み

問 上田市におけるワイン用ブドウの栽培状況はどうか。新規のブドウ栽培者を支援する施策はあるのか。

答 （甲田農林部長）東塩田地区、真田地域の竹室地区、武石地域の鳥屋地区等でワイン用ブドウが栽培され、徐々に増えつつある。農地管理機構を活用し、認定農業者に認定された場合には、補助事業等検討する。

問 観光資源創造のためワイナリー建設に向けてトップセールスをする考えは。

答 （母袋市長）的確な機会を捉えながら、トップセールスを行いたい。

傍聴者の声



本会議を傍聴されたみなさんの声
～こんなご感想・ご意見をいただきました～

- 議員がいろいろな角度で質問していて良いと思いました。
傍聴する人が少なくてびっくりしました。市民がもっと興味を持つべきだと思いました。また来てみたいと思いました。（50代 女性）
- 新人議員の方の緊張した質問が伺え、大変良かったと思います。（70代 女性）
- いつ見学させていただいても、皆さん一生懸命で、聞いていてハラハラします。でもご苦労様です。上田市のためにがんばってください。（70代 女性）

一般質問

古市 順子議員（日本共産党）



子ども・子育て

支援新制度

問 来年4月からの新制度では、市町村は二一ズ調査に基づき、子ども・子育て支援事業計画を策定することになっている。二一ズ調査結果の概要はどうか。

答（田口こども未来部長）子育てに関する悩みの中では、就学前、小学生いずれの世帯も経済的な負担にすることが最も多く、行政サービスへの要望では、保育園等の費用負担軽減、公園や広場の整備、一時預かり、情報提供などの要望が多かった。

問 現在保育所の保育時間は8時間を原則として、それ以外は延長保育となっている。新制度では、保育標準時間11時間が認定されるが、延長保育の考え方はどうか。

答（田口こども未来部長）保育標準時間と認定

された場合は、平日ならほぼ時間内でおさまり、それ以外の時間や日曜日の利用が延長保育事業に該当すると思われる。

農業問題

問 米政策の見直しによる米生産農家数、生産量、農家所得を市はどのように予測し、対策を考えているか。

答（甲田農林部長）農業者の高齢化等による生産農家の減少は予想されるが、認定農業者等への農地の集約化が図られ、大規模経営農家が増加し、安定した生産量を確保できる。農家所得は、米の直接支払い交付金の交付額は減額になるが、地域に適した産地交付金の対象作物の生産を奨励するなどにより、農家所得の確保に努めたい。

一般質問

安藤 友博議員（新生会）



地域内分権について

問 上田市は「地域内分権なくしてまちづくりはない」として、地域内分権を推進してきた。この第4ステージにおいて、地域経営会議なるものがなかなか地域で理解されない。この現状をどのように捉えているのか。

答（滝沢市民参加協働部長）地域経営会議は、新たな住民自治の仕組みの推進的な役割を担う組織として地域の皆様に提案した。新たな住民自治の仕組みづくりでもあることから、地域内分権の取り組みに対する地域での理解がまだまだ浸透されていない現状にあると認識している。地域経営会議に対する市の基本的な考え方をより具体的に示し、さらに理解が深まるよう努めたい。

問 地域交付金の考え方について最終的にはどのような住民組織を必要とするのか、より具体的に示してほしい。例えば地域で使え、地元に着ちる地域交付金を配分する。その使い方は地域で考えるなど、住民自治組織の権限と役割を明確にすることが必要であり、そのことが住民自治組織の必要性を地域住民に理解される方法と考えるがどうか。

答（滝沢市民参加協働部長）市が提案している地域経営会議など住民自治の仕組みについて、地域の皆さんと相互理解のもとに進めていくことが何よりも重要であり、地域の実情や課題の解決策などについて充分拝聴し、市の支援のあり方や取り組みなど、提案された、わかりやすい資料を提示して、地域での理解を深めていきたい。

その他の質問項目

・人口減少対策

一般質問

山田 英喜議員（創始会）



サントミューゼの有効活用

問 年間約3億円の経費が必要と予測され、市民の方々は期待感と同時に不安を募らせる声もある。文化教育に対する重要な投資と位置づけ、どのように活用していくか。

答（宮川交流文化芸術センター館長）「育成」を基本理念の中心に据え、多様で良質な公演開催に努める。取り組みの一つとして市内の子どもたちと義務教育中一度はサントミューゼで感動を味わえるよう、ある学年を対象とした、プロオーケストラによる演奏会を開催する。

外国人観光客の誘致

問 海外に展開する市内企業と連携したPR活動は効果が高いと思うがどうか。

答（井上副市長）上田市

自然エネルギー

への取り組み

問 晴天率の高い上田市はメガソーラーも増えてきた。将来太陽光パネルが廃棄物となり、社会問題となる可能性もある。大きな負担を残さぬよう注視していくべきでは。

答（峰村生活環境部長）太陽光発電設備の設置件数が大きく伸びている。県や庁内関係課と情報を共有し、設備施工業者や廃棄物処理業者等の事業者情報提供をすることにも、今後の国や業界の動向を注視する。

一般質問

井沢 信章議員（新生会）



国道143号の改修

問 国道143号新青木トンネルの建設が提起されて半世紀、いまだ実現できないのはなぜか。

答 （清水都市建設部長）
新青木トンネルを含めた国道143号整備に向けた取り組みの状況は、昭和40年に松本市・上田市・安曇野市・筑北村が国道143号改良舗装期成同盟会を組織し、半世紀の長期にわたり国、県に対し要望活動を行い、結果として断続的に改築事業が行われてきた。新青木トンネルを含めた未着工区間の道路整備には、約120億円という非常に大きな事業費が見込まれ、県の財政状況を踏まえると早期の事業化は難しい状況にあるが、県全体の道路事業を総合的に勘案する中で、計画的に進めていきたいとの回答をいただいている。また、昨年9月の県議会一般質問の答弁の中

で県の建設部長は、「事業化に向けた調査を検討する箇所として、しあわせ信州創造プランの中に掲載しており、具体的なルートや工法等は、今後行う調査を踏まえて決定していく」としている。

今後どう取り組んでいくかについては、新青木トンネル建設が、上田地域と松本地域の活性化には不可欠であり、有事の際に幹線道路の交通機能を補う代替道路としても重要な路線であり、このトンネルの建設に向け、今後も期成同盟会構成の市町村と連携し、引き続き国と県に働きかけを行うしていく。

その他の質問項目

・交流文化芸術センターの運営管理

一般質問

佐藤 清正議員（創始会）



第二次上田市

総合計画

問 計画の策定に当たり合併の成果をどう検証するのか。

答 （金沢政策企画局長）
様々な数値を検証することになるが、地域ごとの数値がつかめるものは可能な限り把握し、その数値の変化を分析して計画策定に活かしていく。

問 第一次総合計画策定の際に実施したアンケート調査と同じ項目の調査を実施し、市民意識の変化や地域間での相違を把握する必要があると思うかどうか。

答 （金沢政策企画局長）
市民アンケート調査は実施する方向で考えている。市民の意識が合併後どう変化したのか把握することも重要と考えている。

上田市下水道ビジョン

問 建設当時の計画処理量と25年度の実績及び将来の見込みはどうか。

答 （峰村上下水道局長）
計画処理水量6万800㎡に対して、4万491㎡の流入量で約67%の割合である。人口が減少に転じたことや排水器具等が節水型に移行し一人当たりの排水量も減少している。今後汚水量の増加は見込めないことから、処理場の施設更新に合わせ、適切な規模・能力に見直しが必要となる。

問 農業集落排水を公共下水道へ統合する費用対効果をどう考えるか。

答 （峰村上下水道局長）
統合の際は、一時的な費用が必要となるが農業集落排水処理場の更新が必要となり、維持管理費も安価となる。公共下水道処理場の処理能力も有効利用が図られ、経営上も有効な手段であると考えている。

議会傍聴へお越しください。

傍聴案内

議会では、市民の皆さんの身近な問題や、上田市の予算、政策など、様々な話題について活発な議論が交わされています。

- ・議会傍聴はどなたでもできます。
- ・事前の予約は必要ありません。
- ・手続きは傍聴券を受け取るだけ。氏名等をご記入いただく必要はありません。

上田市議会ホームページをご覧ください。議会事務局へお問い合わせいただき、議会日程を確認の上、お出かけください。

お問い合わせ 上田市議会事務局：0268（22）0452

一般質問

西沢 逸郎議員（新生会）

第三中学校の
耐震化事業の
計画変更の内容

問 南北校舎の建築基準法不適合について、庁内の各課間で情報共有はなされていたのか。

答 （西入教育次長）平成20年、23年度に特殊建築物定期点検業務は、教育委員会の発注業務で、技術担当課を通すことなく実施し、報告書の情報は共有していなかった。また、教育委員会の職員と技術担当職員との緊密な連携が欠けていた。

問 南校舎のベランダを拡張して外づけの階段室を設置することが、法令不適合を解消し、生徒の安心安全を最優先した最良の方法かどうか。

答 （西入教育次長）平成27年度までの耐震化完了を求める文部科学省からの強い要請。また、27年度までの国庫補助率のかさ上げと付随する有利な

起債の財源の検討。そして、PTAや地元説明会の中で出された要望を可能な限り取り入れ、庁内関係課で協議して作成した改築改修案で、生徒の安全性を最優先に、早期に実現できる計画案であると考え、最終的には、市長の決断を頂いた。

問 南校舎も全面改築すべきと考えるがどうか。

答 （小山教育長）南校舎は、耐震補強でいけると専門家の判断が出ており、耐震補強で進めさせていた。今後基本設計をしていく中で、学校や学校関係者のご要望については真摯に受けとめる。

道と川の駅の整備

問 道と川の駅を大河ドラマ受け入れのために整備充実させる考えは。

答 （清水都市建設部長）状況を見ながら検討する。

一般質問

小坂井 二郎議員（上田新風会）



「真田丸」放映

問 2016年のNHK大河ドラマが、「真田丸」に決定し、報道では関連自治体も動き始めている。母袋市長が全国の知事・関係者を招待して御礼の会はできないか。

答 （母袋市長）過去に真田サミットを開催していたが、9回で終わっている。上田市がイニシアチブを取って連携を図ることは考えたい。

問 信州上田おもてなし武将隊は、第2回全国武将隊天下一決定戦で10チーム中、3位に入賞した「真田丸」放映のPRで、渋谷や道頓堀へ出陣はできないか。

答 （井上副市長）信州上田おもてなし武将隊の特徴は、神出鬼没でもてなすことにある。今年は「幸村公大阪城入城400年」に当たるので大阪方面で積極的なPR活動をした。

運賃低減バスの
実証運行

問 新聞報道にもあったが、実績と分析は。

答 （清水都市建設部長）全14路線で、輸送人員が増加した。定期券利用者も増えており、今後は、要望の多い最終便の充実を検討している。

ふるさと寄付金制度

問 ふるさと寄付金の景品を充実して、寄付金額を増やしている自治体が報道されている。上田市でも、更に充実させる考えはないか。

答 （金沢政策企画局長）寄付金を伸ばすためだけでなく、産業振興に結び付くよう見直したい。

その他の質問項目

・高齢者福祉センターの整備

上田市議会のホームページをご覧ください！

「議会を傍聴したいので詳しい日程を知りたい」、「議会の時以外は、議員は何をしているの?」というお問い合わせをいただくことがあります。

市議会のホームページには、議会日程やそれ以外の予定（議会カレンダー）を掲載しています。また、議員個人の活動については自身のホームページに掲載している議員もいます。そちらも議員名簿から入っていくことができます。

そのほかにも会議録などもご覧いただくことができます。情報満載の上田市議会のホームページをぜひご覧ください。

～議会ホームページでは次の情報を見ることができます～

市議会情報

○定例会・臨時会の日程 ○意見書・決議 ○議会報告会
○市議会カレンダー

市議会のしくみ

○市議会のあらまし ○議会傍聴のご案内 ○請願・陳情について

市議会議員

○議員名簿・各種委員会名簿 ○議長交際費 ○政務活動費 ○会派視察報告

うえだ市議会だより

会議録検索システム

アクセスはこちらから → www.city.ueda.nagano.jp/ 上田市議会

検索

6月定例会 請願・陳情の審査結果

請願

件 名	提 出 者	審査結果
憲法解釈を変えて集団的自衛権を行使することに反対する請願	上小地域「憲法9条を守る会」連絡会 代表 菅原正道氏 (紹介議員 成瀬拓議員)	不採択
集団的自衛権行使に関する、これまでの政府見解の継承を求める請願	上小地区労働組合会議 議長 中山良一氏 (紹介議員 深井武文議員、小坂井二郎議員)	不採択
集団的自衛権についての憲法解釈変更をしないよう関係機関に意見書を提出することを求める請願	上小地区平和委員会 会長 中沢盛雄氏 (紹介議員 渡辺正博議員)	不採択

陳情

件 名	提 出 者	審査結果
医療・介護総合推進法案に反対する陳情	東信医療生活協同組合 理事長 西澤弘行氏	不採択
国の責任による30人学級推進と、教育予算の増額を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 坂井弘氏	不採択
「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 坂井弘氏	不採択
地方教育行政への国や首長の関与を強化する「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の「改正」について慎重審議を求める意見書提出に関する陳情	上田市教職員組合 執行委員長 坂井弘氏	不採択

皆さんの要望を市議会に請願・陳情できます

市議会では、皆さんの要望などを請願や陳情という形で受け付けています。

提出された請願・陳情は内容を審査し、採択か不採択を決定します。

■請願について

請願は所管する常任委員会に付託して審査をしています。その結果をもとに、本会議で結論（議決）を出します。請願は、請願を紹介する議員が必要です。

■陳情について

陳情は、紹介議員は必要ありません。一部を除き、受理された場合は所管する常任委員会に付託して審査を行いますが、本会議での議決は行わず、委員会の審査結果を本会議で報告します。

■請願・陳情の記載要件

日本語を用いること・次のことが記載されていること（趣旨、提出年月日、住所及び氏名※法人の場合はその名称及び代表者の氏名、請願・陳情者の押印、紹介議員の署名または記名・押印※請願の場合）

■請願・陳情の趣旨説明

請願・陳情の趣旨を明確にするために、提出者の希望によりその趣旨を説明する機会を設けています。詳細は議会事務局にお問い合わせください。

※次回の9月定例会で審議・審査する請願・陳情の提出期限は、9月2日（火）の午後3時です。

第3期 上田市議会 会派紹介

第3期上田市議会には5つの会派があり、それぞれ活発に活動しています。

会派とは、市政に同じ考えや意見をもった議員が集まって、自分たちの考えを議会の場で反映させるために作る団体であり、上田市議会では、会派は3人以上の所属議員からなることが条件とされています。

また、会派にはそれぞれ、議会内に議員控室が割り当てられるほか、会派単位で政務活動費が支給され、市政に関わる調査・研究等の議員活動を行っています。

今号では、上田市議会の5つの会派について、それぞれ紹介していきます。

新生会

私たち新生会は、市民がより心豊かに生活でき、安心安全な上田市を築きあげるという基本理念の下、開かれた上田市議会を目指し、平成18年の新生上田市発足に合わせて結成されました。

現在、所属議員は11名。年齢構成は20代から70代と幅広く、教育・子育てから産業の振興、そして医療・介護の問題に至るまで、様々な世代の意見を代弁できることが特徴です。

また、議員の選出地域は、丸子・真田を含めた市内全域に及んでおり、「地域内分権」を推し進める上で必要とされる地域的バランスを持ち合わせた会派構成ともなっています。

議員総数の3分の1を超える最大会派であるため、そのことばかりに注目されがちですが、私たちの本当の強みは個人の資質の高さです。昨年行

われた会派主催の勉強会や行政視察は10回を数え、常に時代に即応できるよう努力を続けて参りました。

今後、「元氣な上田市を築く」という結成当時の志を胸に、市民目線を忘れず、更に質の高い活動を続けて参ります。

代表 土屋 陽一
代表代理 尾島 勝

林 和明

佐藤 論征

金子 和夫

土屋 勝浩

松山賢太郎

井沢 信章

下村 栄

西沢 逸郎

安藤 友博



創始会

「創始会」は、3月の選挙で当選した議員8人でスタートした会派です。

会派の理念は①上田市民が住み続けたいと思えるまち②活力ある魅力的なまち③上田市の未来予想図を示しながら市民協働によるまちづくり。以上の実現を目指すことです。

そのためにまず必要なことは、会派議員の資質の向上だと私たちは考えています。個々の議員が日頃の議員活動を通じて市民から吸収した情報を会派内で共有できるよう、定期的に会派会議を開き、会派運営の健全性についても議論を行っています。また、政策研究会・議員研修会へ積極的に参加し、上田市にとって必要な先進事例を持つ自治体への視察活動や管内視察を行って見聞を広め、議会の場で行政に政策提言を行ってまいります。

政務活動費については、

その使途を会派内で慎重に議論し、市民の皆さんにしっかりと説明できる支出を心がけているところです。

昨年制定された議会基本条例にのっとり、今後私たちは、議会改革にも積極的に取り組んで参ります。市民に一層開かれた市議会の実現に向けて頑張ります。

代表 小林 隆利
代表代理 佐藤 清正

山田 英喜

松井 幸夫

宮下 省二

原 栄一

池田総一郎

南波 清吾



日本共産党

日本共産党市議団は、地方自治法に示す「住民の福祉の増進を図る」ために活動しています。

具体的には市民の声を

市政に届けるために、全員が毎議会、一般質問に取り組んでいます。また、毎年12月には、たくさんの市民要望を整理して、市長に「予算要望書」を提出、回答を求めています。さらに、時々的重要かつ緊急課題について現地調査や聞き取りを行い、市長への申し入れ活動をしてきました。直近では2月の「雪害対策についての緊急申し入れ」をしました。市政と市議会の様子は、定期的な街頭での報告や議員個人がブログやフェイスブック、ホームページや紙媒体の議会報告を発行しています。

私たちは、全ての常任委員会と特別委員会に所属することで、市政全般にわたり、市民目線でチェック、建設的な提案を

しています。一方、市民サービス低下や負担増など市民の理解が得られないと判断した施策（議案等）については、理由を明確にして、反対してきました。

我々市議団は、徹底した平和主義を掲げる第9条、国民の生存権と文化的生活を明記した第25条など、憲法の全条項をしっかり守り実践することこそ、豊かな市民生活を保障するものと考えて活動しています。



代表 渡辺 正博
代表代理 久保田由夫
成瀬 拓
古市 順子

公明党

私たち公明党上田市議団は、3月の改選で当選した新たな議員を加えた4名の議員で会派を構成しています。平均年齢53歳、女性1名、男性3名。期数4期目、2期目そして1期目新人2名です。会派の指針となっている考え方は、私たちは「人間主義」に立脚し、どこまでも人間から出発する社会、人と地域が輝く社会を目指しています。

一人一人の議員が「小さな声を聴く力」を思う存分発揮し日々、市民の皆さんからいただく相談・提案を通じて上田市の課題を捉え、市政に反映させるべく活動をして参りました。議会本会議での一般質問、委員会審議に加え、毎年、上田市長に提案する翌年度の『予算要望書』は皆さんからのご意見を調査研究した市政課題の提言となるものです。平成26年度予算要望は、重点施策42項目に

加え、各部局計226項目にわたりました。

市民の皆さんから信頼される議員会派であることを目指し活動をして参ります。

なお、公明党上田市議団のホームページ、フェイスブックページを開設し議会報告も行っておりますのでご覧ください。



代表 半田 大介
代表代理 金沢 広美
松尾 卓
池上喜美子

上田新風会

是々非々が理念！

平成18年の合併による新生上田市議会のスタート時に結成された会派で、是々非々の姿勢で市政のチェック機能を果たしてゆくということを基本理念に、常に新しい「風」を市政に送るという意味を込めて名称も「上田新風会」と命名しました。

合併から8年を経過し、一体感も醸成しつつある中で、地域内分権のさらなる推進こそが、少子、高齢化、人口減少が進む地方自治体にとって住民協働による、まちづくりに向けて重要な当面の市政課題であります。

その他、取り組む市政課題は山積しておりますが会派理念に沿い取組んでゆく方針であります。

30名の議員定数の中で現在、3名という最少会派ですが無色透明な無所属の会派として、小さくもキラリと光る存在を目指し、市民目線に標準を

合わせ市政発展に向け邁進して参ります。



代表 深井 武文
代表代理 三井 和哉
小坂井二郎

身近な議会を
目指して

お伝えします 議会のこと
お聞きします 皆さんの声

平成26年度上田市議会報告会開催

議員が各地域に出向き、市民の皆さんに直接報告・説明するとともに、皆さんの声をお聞きます。大勢の皆さんのご来場をお待ちしております。

◇期日、会場

開催期日	実施地区	時 間	会 場	担当班
10月20日(月)	丸 子 地 区	午後 7 時～ 8 時30分	長瀬市民センター	3 班
10月21日(火)	川 西 地 区	午後 7 時～ 8 時30分	川 西 公 民 館	2 班
10月22日(水)	塩 田 地 区	午後 7 時～ 8 時30分	塩 田 公 民 館	1 班
	武 石 地 区	午後 7 時～ 8 時30分	武 石 公 民 館	3 班
10月23日(木)	神科・豊殿地区	午後 7 時～ 8 時30分	上野が丘公民館	2 班
10月24日(金)	西 部 地 区	午後 7 時～ 8 時30分	西 部 公 民 館	1 班
10月25日(土)	城 南 地 区	午後 1 時30分～ 3 時	城 南 公 民 館	3 班
	真 田 地 区	午後 7 時～ 8 時30分	真田中央公民館	2 班
10月26日(日)	中 央 地 区	午後 1 時30分～ 3 時	交流文化芸術センター	1 班

◇班構成 (○は各班の代表者です。)

1 班	2 班	3 班
成瀬 拓 尾島 勝	佐藤 論征 古市 順子	林 和明 宮下 省二
原 栄一 土屋 陽一	山田 英喜 金沢 広美	松尾 卓 佐藤 清正
池田総一郎 ○小林 隆利	土屋 勝浩 ○三井 和哉	小坂井二郎 ○久保田由夫
西沢 逸郎 渡辺 正博	松山賢太郎 南波 清吾	金子 和夫 深井 武文
安藤 友博 半田 大介	井沢 信章	松井 幸夫

※ 下村栄議長と池上喜美子副議長は各会場に伺います。
議会報告会に関するお問い合わせは議会事務局（TEL0268（22）0452）まで

『くれなゐの牡丹咲く日は大空も地に從へるこゝちこそすれ』、本年6月愛知県津島市で見つかった歌人・与謝野晶子の未発表歌は、大輪の花を咲かせた夏の牡丹の優雅さと力強さを感じます（私自身の素人所感）。牡丹は「花の王」とも言われる一方で、その根は漢方薬として重用されています。

さて、再来年に放映が決まったNHK大河ドラマ「真田丸」、10月にグラインドオープンするサントミューゼ、来年に迫った新幹線金沢延伸、そして菅平高原での2019年ラグビーW杯キャンプ地誘致と上田市への期待は牡丹のごとく富貴な花となるか。私たち上田市議会は、花の根にも注目し、効果や市政の課題について市民のご意見を伺いながら取り組んで参ります。今秋には第4回の議会報告会を予定しております。皆さんのご参加をお待ちしております。

(半田大介)

編集後記